

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	児童発達支援センター バンビ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 21日 ～ 2025年 2月 7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64	(回答者数) 53
○従業者評価実施期間	2025年 1月 21日 ～ 2025年 2月 7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18 内容により記入なしもある
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者と密接な連携をとることで、お子さんの成長を促すことにつながっている	・個別支援計画を作成するときには、保護者の意見をしっかり受け止めたうえで、どのようなところに力を入れて支援していくかを説明している	・成長の様子をふまえ、次期の支援計画を作成している。行事においても、ねらいにそった取り組み方など細かな説明も併せて行っている。成長を促すためのスモールステップを本人の力に合わせて行っていく
2	・環境を整え、お子さんにとって安心安全な場としてバンビで楽しく遊ぶことができている	・刺激の少ない環境になるように部屋の中を整え、写真や絵を使って視覚提示ができるように工夫している	・安全に体を使った遊びができるよう、園庭や遊戯室・訓練室など、常に危険がないかを確認し、より安全で安心した環境作りに取り組んでいく
3	バンビは根拠のある療育を行っている	『医師による育児相談』や『心理士による相談』を設定し、保護者の相談に応じている。相模原療育園の作業療法士や理学療法士の来所、医師、看護師、リハビリスタッフを交えたケース会議を開催している。	SNSやメールを活用して、バンビ職員と相模原療育園の職員との更なる連携を図っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援センターとして、地域の児童発達支援事業所との連携を進めることがまだ希薄である	地域にある児童発達支援事業所がどこにあってどのような内容で支援を行っているのか把握できていない	市と協働し、学習会や連携会議などを計画し、地域にある事業所と顔の見える関係性を作り、子どもたちの成長を促す方向性の共有と、共通の認識を持てるように進めていく
2			
3			